



栄だより

4月号①

令和2年4月6日

千葉県立栄特別支援学校

校長 鈴木 春雄



開校4年目を迎えて



新たなスタートの年 力を合わせて

今年度、匝瑳市にある飯高特別支援学校から参りました校長の鈴木春雄と申します。ここ栄町には「龍角寺」というお寺がありますが、同じ『龍伝説』の尾の部分に当たる「龍尾寺」が匝瑳市にあり、まるで龍に導かれたかのような不思議な縁を感じております。毎日、旭市からその「龍尾寺」を通過して、この「龍角寺」まで通って参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて本校は平成29年度（2017年）に開校して、今年度で4年目を迎える、千葉県内でも一番新しい特別支援学校です。前任の吉田校長がいらした開校の3年間を学校の基礎作りの段階と考えますと、今年度からは学校をより充実させていく段階だと捉えています。

児童生徒数も今年度は、小学部65名、中学部22名、高等部47名合わせて134名となり、これまでで最大の人数となります。一人ひとりの児童生徒がもっている力をさらに伸ばせるよう、教育活動の充実に向け、全職員で指導・支援に取り組んでいきます。

困難に負けない「生きる力を育てる」

さて今年の3月には、新型コロナウイルス感染症予防のため、急な臨時休業という措置に各御家庭で対応していただき、誠にありがとうございました。幸い、本校の関係者から感染者はなく、予定通りに令和2年度のスタートを切れると思っていた矢先…昨日示された県の方針により、再び休校ということになりました。1カ月以上も登校できずに不安な時間を過ごしていた児童生徒の皆さんが、やっと登校できたのに、本当に残念でなりません。



けれども、まだ新型コロナウイルスの感染の状況は予断を許さないものであることは間違いありません。そのウイルスをこれ以上広めないためにも、今がまさに正念場です。まずは小まめな手洗いや換気、人込みを避けるなどの予防と、ウイルスに負けない体力と免疫力を付けられるよう規則正しい生活に努めていただくことをお願いします。そして、来る5月に元気にまた再会できることを楽しみにしています。

<校長 鈴木 春雄>